

(別紙4(2))

目標達成計画

事業所名 グループホーム河内やすらぎの家

作成日: 平成 30 年 4 月 19 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	施設サービス計画書の目標達成状況において進捗状況が把握できにくい。	施設サービス計画書の目標の実践・経過状況の把握ができる。	1)書式の工夫(チェック様式にする)をして一目で状況の把握ができる。 2)時系列にする。 3)サービス内容の支援経過も並行して継続していく。	6ヶ月
2	35	避難通路に段差があり安全に避難できない。	緊急時、安全に避難移動ができるようになる。	1)スロープを取り付け車椅子利用の方でも安全に避難できるようになる。 2)必要のない時は取り外しができる物にする。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。